



高木瀬小学校 学校だより

第6号
R8.7.16発行
文責:橋口

共創の1学期に感謝

明日、無事に1学期の終幕を迎えます。1学期間、本校を温かな眼差しで支え続けてくださった学校サポーターの皆様へ、心から感謝を申し上げます。

今学期、仮設児童クラブ館の建設に向けて駐車場の整備工事を続けています。それに伴い、正門を通っていた子どもたちの登下校を東門と西門へと変更しました。歩くルートが変わるという変更を強いることになって、どなたからも不満や苦情はなく、むしろ登下校を見守る私たち職員にたくさんの労いの声をいただきました。

初夏の風が吹き抜けた運動会では、「みんなが楽しめる運動会」という最上位目標を掲げ、これまでの運動会の在り方から見直す改革に挑みました。時間的な反省やプログラム上の課題も数多く残りました。しかし、皆様から届いたのは、子ども達の表情や動きに対するあまりにも温かく肯定的な言葉の数々でした。それは、「主体性を育む学校」に向けた学校改革に対する力強いエールと受け止めました。

また、PTA行事「せんだん学級(1~4年生)」でも、PTA父親委員の皆様を中心とした学校サポーターの協力のおかげで子どもたちの弾けるような笑顔があふれる思い出深い時間となりました。

皆さんは、まさに学校と共に歩む「学校サポーター」です。2学期も情熱を持って、子どもたちの未来を共に創っていきましょう。本当にありがとうございました。

「自分で決める、自分で紡ぐ」——夏休みならではの挑戦

1学期の終わりと共に、いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。

今年の夏、本校の「生活のきまり」は、これまでの事細かなルールを一新し、法律に触れること以外は原則として制限を設けないという、大胆なリニューアルを行いました。

ひょっとしたら「学校で一律に決めてくれた方が、家でも言い聞かせやすいのに」と戸惑われる方もいらっしゃるかもしれませんが、「何時から机に向かうのか」「図書館や商業施設などの校区外まで出かけても良いか」等といった選択や判断は、お子さんの発達段階やご家庭の事情によって千差万別です。だからこそ、一律の型にはめることは実は難しいと考えます。

何より、親子で膝を突き合わせて話し合い、自分で決めた約束を自分の意志で守り抜く。その瞬間に生まれる小さな達成感や満足こそが、子どもたちに「自律の灯」を灯すものと信じています。

ぜひ、夏休みが始まる前に、親子で「学習の時間」「お小遣いの使い方」「ゲームやYouTubeの視聴時間」「家庭での役割(お手伝い)」「遊びに行くときの約束」などを語り合ってみてください。

きっと、最初から完璧にはいきません。3日で崩れる約束もあるでしょう。けれど、そこで「ほら見なさい」と責めるのではなく、「今回はうまくいかなかったね。何ができなかったんだろう。次はどうしようか?」と、親子で顔を見合わせて作戦会議を開いてほしいのです。失敗を繰り返しながら、自分にぴったりのルールを何度も何度も織り直していく。この試行錯誤のプロセスこそが、子どもたちが自立へと向かうかけがえのない階段となります。

この自由が多い夏休み期間に、子どもたちが自らの手でどんな学びを得るのか。サポーターの皆様、ご家庭でその頼もしい挑戦を、温かく見守り、伴走してあげてください。

実り多き、最高の夏休みとなりますように。



個人懇談(22日~27日)は学年で十分打ち合わせを行って、皆さんをお待ちしております。限られた時間ですが、どうぞ、よろしくお願いします。エアコンは入れますが、クーラービズ等、それぞれに暑さ対策をお願いします。

学校目標「全児童に未来社会をしなやかに生き抜く力を育む」

【不審者対応避難訓練を実施しました】

7月9日、佐賀北警察署から2名の警察官をお招きし、「不審者対応避難訓練」を開催しました。

子どもたちの様子:冷静で完璧な避難

今年度は「午前中に行う」ことだけを伝え、詳しい時刻は伏せて訓練を開始しました。しかし、子どもたちはふざけることなく、これが「命を守る大事な訓練」だと深く理解していました。冷静に鍵をかけ、バリケードを築き、電気を消して、本当に誰もいないかのような教室をつくり上げることができました。素晴らしい避難態度でした。警察の方からも子ども達の避難態度について「素晴らしい」と賞賛をいただきました。

教職員の備え:臨機応変な対応への模索

火事や地震と異なり、不審者は自ら動きます。そのため、職員室ではかなり前から緊張感が漂っていました。訓練といえどもあえて不審者の動きを決めずに行いますので「どのタイミングで不審者認定をするのか」「いつ笛を吹くのか」「どこに誘導するのか」「校内放送を一刻も早くするためには」など、様々なケースを想定して真剣な相談や話し合いをする姿が職員室のあちらこちらにありました。

事後の検証と今後に向けて

訓練終了後、佐賀北警察署の方から直接ご指導をいただきました。今回の訓練の様子は業者の方に録画を依頼しており、今後はその映像を警察からの指導内容と照らし合わせながら見直し、私たちの対応に問題がなかったかを徹底的に考察し、さらなる安全確保に繋げてまいります。

PTA 父親委員の山田様、ありがとうございました！

今回、最も重要な不審者役を1年生のPTA父親委員である山田さんをお願いいたしました。山田さんは訓練の目的を深くご理解くださり、迫真の「素晴らしい(?)不審者ぶり」を演じてくださいました。お忙しい仕事の都合をつけて大役を担ってくださったことに、心より感謝申し上げます。



※不審者は、叫んだり、壁を叩いたりはしていません。子ども達をなるべく怖がらせることのないよう努め訓練をしていますが、緊張の雰囲気を感じて怖い思いをした子どももいたようです。各学級で担任によるフォローをしています。



学校サポーターの皆様へお願い

- 学校敷地に入られる場合は**事務室で受付**後、**名札**を着用してください。
 - 職員からお声をかけます。挨拶や返事のない場合は「不審者」としての対応をします。
- 以上は警察からの指導によるものです。ぜひ、ご理解とご協力をよろしくお願いします。



各学級で「人権の合言葉」を決めました

人権集会時に5年生から呼びかけがあり、各学級で話し合って決めました。それぞれの学級の思いや願いが表現されていて、読んでいただけるととても幸せな気持ちになります。児童昇降口前に掲示をしています。個人懇談の折にでも、ぜひご覧ください。